

Heart Beat Office

Okamura Grand Fair 2022

今日、 ハートビートする オフィスで会おう。

2020年、私たちの生活は激変した。

オフィス環境ではリモートワークが定着し、
人に会わずに仕事をすることが当たり前の中になった。
業務に関することは自宅で完結できる。

でも、私たちは気づいている。

オンラインでは共有できない、
メンバーの感情や血の通った議論から生まれる熱気。
自宅では実現が難しい、
開放された場所で心や体を健康的に保つ癒し。
予期せぬコミュニケーションが生まれることを楽しみ、
人と人とのつながりを感じながら働く。

心が鼓動する瞬間がオフィスにはある。
それこそがオフィスの真の価値ではないだろうか。
今日、ハートビートするオフィスで会おう。



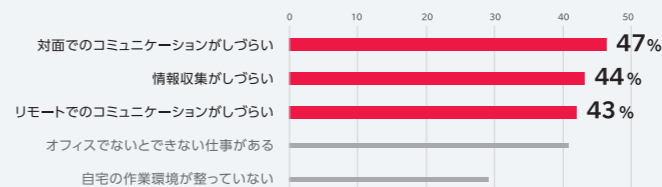
コロナ禍を経験した今、オフィスに必要な要素とは？

WORK VISION 202X

オフィスの未来に9つの視点



Q. 仕事の質への悪影響要因



上位3つは対面に関する項目

対面でのコミュニケーションを
求めている

コロナ前後で仕事の質が低下したと回答したワーカー559名へのアンケート調査。上位5位を抜粋。

今、オフィスに必要な「要素」と「空間」

Well Being 

癒し



AGILE

チーム作業を加速させる

MEETING

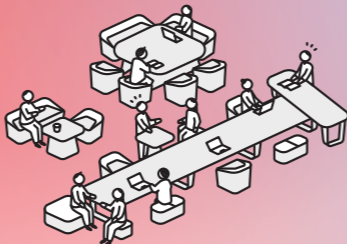
情報共有し意見を出し合う



共創エリア

社内外の交流と創造

熱気と癒しの
“交わる場”



BASE

個人業務の中心地

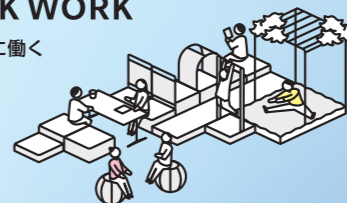


BUSHITSU

チームの拠り所

PARK WORK

健康的に働く



FOCUS

没頭し専念する



CAFE

リラックスと
コミュニケーションを促す

熱気



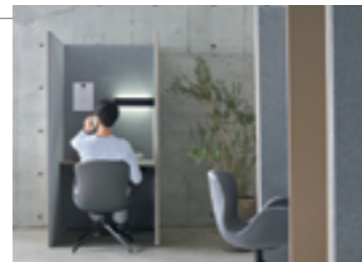
Collaboration



MEETING

情報共有し、意見を出し合う

仕事を行なう上で欠かせない情報共有や意見交換に必要なミーティングスペース。会議を効率的に進めるために、立ち会議を取り入れたり、大型モニターやテレビ会議システムなどの情報共有ツールをうまく使いこなしましょう。



FOCUS

没頭し専念する

速さや正確性が求められる作業をしたい時や、誰にも邪魔されずじっくり考えに専念したい時に「籠れる場」があると嬉しい。視線や音を遮る空間であれば、機密情報・個人情報に関わる相談もできます。

Well Being



癒し



AGILE

チーム作業を加速させる

チーム作業のスピードを高めて、より成果の高いものをアウトプットする場です。チームでアイデアを磨き、具現化し、試すサイクルを素早く回すことで質の高い成果を生み出すことができます。

PARK WORK



健康的に働く

PARK WORKは「公園づくり」を意味し、多彩なアイテムの組み合わせによって健康を保持・増進する7つの行動を誘発するオリジナルの公園が完成します。健康経営オフィスを実現するには、自分らしく健康的にふるまえる公園のような場所が必要ではないでしょうか。

CAFE

リラックスとコミュニケーションを促す

仕事の合間のコーヒープレイクやランチ、くつろいだ雰囲気で作業したいワーカーにお勧めのエリア。偶発的な出会いが生まれやすく、業務上では出会わないワーカー同士のコミュニケーションが始まるきっかけの場にもなります。



熱気



Collaboration

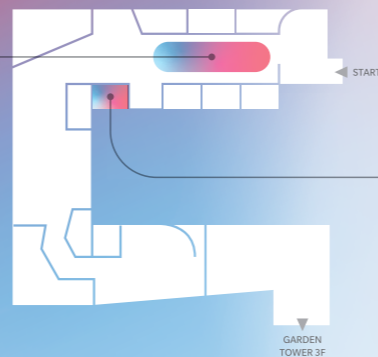


熱気と 癒しの “交わる場”

BASE

個人業務の中心地

執務の中心となる場で、事務処理やメールのチェックなど個人の定例業務をしたり、周囲の人とちょっとしたコミュニケーションを取れる場です。これからのベースは、個人もチームもどちらも柔軟に使える働く拠点です。



チームの拠り所

チームの一体感を高めるBUSHITSUは、チームのメンバーが気軽に立ち寄り、交流できる場です。時間と場所の制約がなく、柔軟に働ける時代だからこそ、チームの拠点となる場所は必要不可欠です。

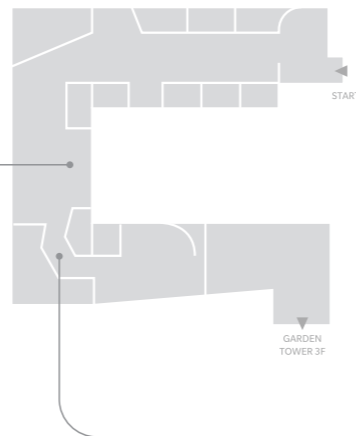
BUSHITSU

SHARED OFFICE



自社オフィス以外の
ワークプレイス

会社や個人で契約することで、会員として
利用できるオフィスです。仕事の内容に合
わせて、働く場を自由に選択できることは、
作業効率のアップにもつながります。



HOME

自分の時間を大切にして働く

自宅の中でも、リビング、ダイニング、書斎など働く場所
は様々です。普段生活する場だからこそ、ワークライフ
バランスを意識して自分らしく効率的に働ける環境が
求められます。



WORK ROOM

仕事に集中するためのプライベートなワークルーム



WORK SPACE

生活の場と隣り合わせのコンパクトなワークスペース



WORK SPOT

一時的に働く環境に変わるフレキシブルなワークスポット

Work x D

ワーク・バイ・ディ

オカムラが提案するデジタルトランスフォーメーションサービス。センターオフィスや他拠点、アラウンドプレイス、自宅をデジタルにコネクト。包括的にシステムを構築し、ワーカーにはこれまでよりも優れた働き方の体験を、施設管理者にはこれまでよりも優れたファシリティマネジメントシステムの体験を提供する新しいサービスです。(Work x Dは、株式会社ビットキーのworkhubクラウドを基盤に構築されます。)

家具から、空間から、デジタルまで。ひとりのワーカー、ひとつのID、ひとつのアプリで

1 OFFICE TENANT

アプリだけで始められる座席予約システム(ホテリング)や、後付けできる電池式スマートロックを活用すれば、スピーディーにリモートスタートすることも可能です。



パスワードの使い分けや情報管理が煩雑に。利用者・管理者ともに使いづらい。

2 BUILDING

オフィス内のシステムを包括的に構築するとどまらず、セキュリティゲートやエレベーター、受付などビル側のシステムとも連携できます。複数拠点の統合的な管理を実現するシステムです。

働く環境を取り巻くあれこれを



一気通貫で整備

3 AROUND PLACE

会員登録、座席・会議室・ロッカーの利用予約、備品管理、無人受付、利用実績に応じた決済など、コワーキングやシェアオフィス向けのソリューションもご提供します。



Work x Dの導入で、あらゆるサービスが連携。より便利で使いやすく。

詳しくはこちら

<https://www.okamura.co.jp/solutions/office/workxd/>



AWARD

インハウスデザイナーのほか、国内外のプロダクトデザイナーやデザインオフィスと製品開発を行い、グローバルな視点でのモノづくりを実践してきました。オカムラは、1960年代以降で国内外のデザイン賞において、総受賞数689件となり、業界で日本一を誇り、世界中で高い評価を受けております。

業界内受賞数 No.1

総受賞数 549件
54年連続受賞

オカムラの製品は、国内のグッドデザイン賞、海外のGOOD DESIGN®、Red Dot Award、iF DESIGN AWARDにおいて業界で日本一の受賞数を誇り、世界中で高い評価を受けています。



GOOD DESIGN



reddot winner 2021
best of the best



reddot winner 2021
best of the best

オフィスシーティング「CYNARA(シナラ)」が、「2021 Red Dot: Best of the Best」に選出されました。昨年のミーティングチェア「Marca(マルカ)」シリーズに続き、2年連続受賞の快挙を達成しました。



BEST OF DECADE
universal design company

オフィス家具業界初の受賞!ユニバーサルデザインに対する取組みと功績が評価され、「BEST OF DECADE universal design company」を受賞しました。

詳しくはこちら

<https://www.okamura.co.jp/company/products/award/>



オカムラウェイ Okamura Way

オカムラは、持続可能な社会実現の重要性が高まり変化していく価値観に合わせ、既存の経営理念を一部改訂、体系的に整理し、新たに「オカムラウェイ」を策定しました。

オカムラウェイ

オカムラのミッション

豊かな発想と確かな品質で、
人が生きる環境づくりを通して、社会に貢献する。

オカムラ宣言

人を想い、場を創る。

私たちの基本姿勢 -SMILE-

私たちにかかわる、全ての人の笑顔のために

Shine

学び・感性を
磨くことで、
自分が活きる

More

果敢に挑戦
することで、
仕事が活きる

Imagine

思いやりを持ち
創造することで、
相手が活きる

Link

多様性を愛し、
協力することで、
チームが活きる

Expert

最良を追求し
続けることで、
社会が活きる

「人が活きる」

オカムラウェイを構成する3つの要素
すべての根幹には、
「人が活きる」という価値観があります。

「人が活きる」とは、人それぞれが個性や専門性を発揮しながら、自分らしく生き活きと、ベストな状態で働き暮らすことができることを意味していますが、同時に、自分を取り巻く人々や社会とのよい関係性の中で共創し、新しい価値が生まれている状態も表しています。

つまり、一人ひとりが自ら活き、また他者と互いに活かし合うことで、仕事も会社も、そして社会全体も活きてくる。

私たちオカムラは、この「人が活きる」という考えに基づき、持続可能な社会の実現を通じて、社会に貢献していきます。

詳しくはこちら

<https://www.okamura.co.jp/company/okamuraway/>



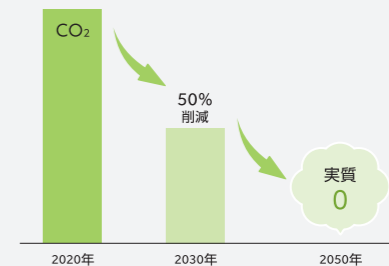
未来へつなぐ、波を起こせ

GREEN WAVE

良い未来は、決して一人ではつくれません。一人ひとりが意識し、さまざまな組織が連携し、国境を超えて手を取り合う。そんなポジティブな連鎖が、良い未来へとつながっていきます。だからこそ、オカムラは社会に影響を与えるような新しい製品、活動を次々と創出します。「GREEN WAVE Road to 2050」良い未来へとつながる動きは、ここから始まります。

2050年カーボンニュートラルを目指して

オカムラグループは、2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。そのマイルストーンとして、2030年度のCO₂排出量の削減目標を2020年度比50%と設定。カーボンニュートラルの実現に向け、これまでの活動をさらに強化するとともに、新たな視点に立った取り組みを展開し、脱炭素社会実現に貢献していきます。



主な取り組み

再生可能エネルギーの導入

設備や社有車の電化

省エネルギー設備への切り替え

再生樹脂

分別設計

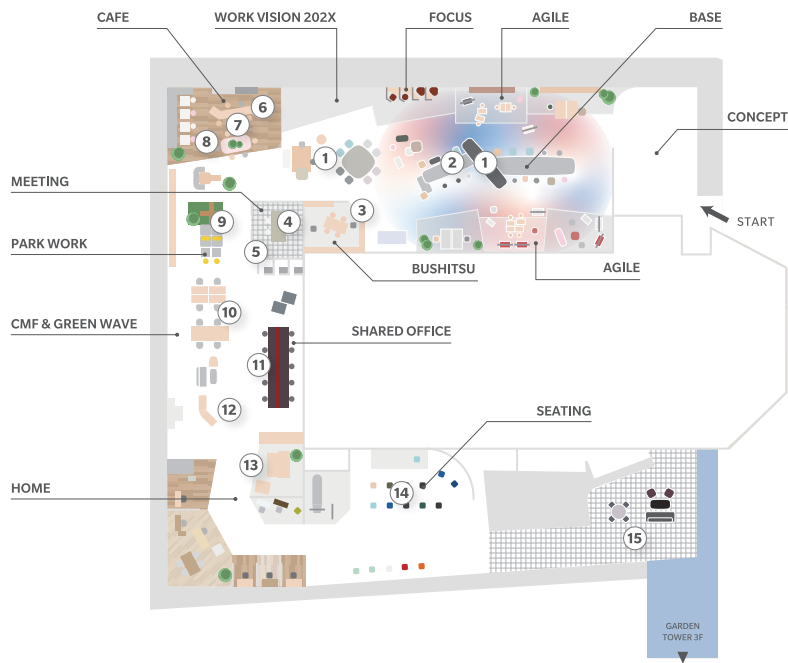
製品のクリーニング

詳しくはこちら

<https://www.okamura.co.jp/company/sustainability/greenwave/>



New Products 2022



① WORK CARRIER



② OC Portable Battery



③ RATIO III



④ Swift IV



⑤ ena



⑥ Alt Foyer



⑦ Amita



⑧ Puc



⑨ PARK WORK



⑩ RECO NE



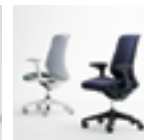
⑪ MIKOTO



⑫ Lives Collaboration Sofa



⑬ Parabel



⑭ Spher



⑮ Phlox